

グループホーム ひなたの家

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		利用者1人1人に対して、毎日とその人らしく楽しく過ごして頂くように取り組んでいきたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		事業所の理念にもあるように目配り、気配り、心配りを忘れずに取り組んで生きたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		理念に基づいて事業所自体を開放された空間にできるように取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		地域に対して、今後は散歩しながら、ゴミ拾い等の活動に取り組んでいきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		引き続き地域活動には積極的に参加し、地域の人々とより交流を持てるよう取り組んでいきたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所の力を活かした地域貢献については、まだ取り組んでいない。		今後、地域貢献について取り組んでいこうと考える。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	第三者からの視点で事業所を評価し、改善点をあげて頂くことによりよりよい事業所を目指すように取り組んでいる。		毎年の評価での改善点と自己評価を考慮し、利用者にとってよりよい事業所になるように取り組んでいきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者の状況、サービスについて、報告を行い、事業所のサービス向上について議論して意見を頂いている。		今後も運営推進会議での、利用者のサービスについて、事業所のサービス向上について意見を頂くように取り組んでいく。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者1人1人が、安心して暮らして頂けるように事務手続き等において、サービス向上を考慮し市町村に積極的に行き来している。		引き続き、事業所は市町村との関係を大切にし、利用者1人1人について考慮し、サービス向上出来るように取り組んでいきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前家族の方からの要望があり学ぶ機会を得て、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について、関係者も含めて話し合いを持ち、対応できるように取り組んでいる。又、必要があれば即対応出来るようにしている。		引き続き、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について、迅速に対応出来るように取り組みたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新聞、ニュース等の福祉関係について目を通し、又、職員の情報から学ぶ機会を得ている。現在、事業所内での高齢者に対する虐待はないが、起こりえる可能性があるので、注意を払い、見逃すことのないように予防に取り組んでいる。		虐待は絶対起こってはならないことであるので、今後も見過ごさないように注意を払い、防止に取り組むたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約、解約時は、利用者や家族等の不安、疑問点、要望を尋ねさせて頂き、契約内容や重要事項説明書等が理解・納得出来やすいような表現で説明している。</p>		<p>引き続き、十分な説明と理解・納得して頂くように取り組みたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者とのコミュニケーションを大切にして、居室への訪室や声掛けを積極的に行い、利用者の胸の内を聞かせることによって、意見を聞かせて頂き、から少しでも解消されるように取り組んでいる。</p>		<p>引き続き、利用者とのコミュニケーションを大切に、利用者の胸を打ちを聞かせて頂くように取り組みたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の事業所での生活や状態は、家族が利用料の支払いに来られた時にこまめに報告を行い、金銭についても同様である。職員の異動については特に報告は行っており、尋ねられた時は報告している。</p>		<p>引き続き、取り組み内容を継続していきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所の玄関先の下駄箱上に御意見箱を設置し、意見、不満、苦情を出して頂く事で事業所運営に反映させている。又、意見、不満、苦情を利用者の面会に来られた時に話して頂いている。</p>		<p>引き続き、取り組み内容を継続していきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的な会議や日常において、職員が提案する機会を持ち、その提案に対して運営者や管理者が判断して、運営に反映している。</p>		<p>引き続き、取り組み内容を継続していきたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者や家族からの状況変化や要望に対して、迅速に対応出来るように職員確保と勤務調整に取り組んでおり、励んでいる。</p>		<p>引き続き、取り組み内容を継続していきたい。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者の馴染みの職員の異動や離職については、出来るだけ抑えるように取り組んでおり、代わる場合については、その利用者との話し合いを持ち、利用者へ配慮するよう行っている。</p>		<p>引き続き、取り組み内容を継続していきたい。</p>

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の募集・採用については、出来るだけ採用対象から排除しないように考慮し、働く職員の能力を発揮出来るように配慮している。</p>		<p>引き続き、取り組み内容を継続していきたい。</p>
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>入居者に対する人権尊重の為に、職員等に対する人権教育、啓発活動は特に実施していない。なぜなら入居者に限らず人権を尊重することは当たり前の事であると考えているからである。</p>		<p>今後、入居者に対する人権の尊重を理解してもらえるように、人権教育、啓発活動を少しでも取り組みたい。</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員を段階に応じて育成する為の計画はたてておらず、必須の研修や希望で研修に参加するくらいであり、法人内外の研修を受ける機会は確保していない。働きながらのトレーニングについては特に進めてはいない。</p>		<p>管理者や職員を育成する為の研修について、少しでも計画がたてられるよう取り組みたい。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>書類手続きや施設での活動について、同業者との交流を図り、相互作用することで、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>引き続き、同業者との交流を図り、利用者の為に、サービスの質の向上に取り組むたい。</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>親睦会を開き、日頃のストレスを発散する機会を設けている。</p>		<p>引き続き、取り組み内容を継続していきたい。</p>

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の仕事に対する態度、姿勢及び勤務状況について、把握しており、各自が生き生きと働けるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談や利用に当たって、利用前から本人にそれらについて話して頂く機会を得ており、出来るだけ本人の意向に沿った対応が出来るように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用に当たって、利用前から本人の家族等にそれらについて話して頂く機会を得ており、出来るだけ本人の意向に沿った対応が出来るように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に本人と家族に事業所の支援等を説明し、納得された段階で、他のサービス利用の対応に取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス開始前に本人の特徴や性格を本人や家族から聞かせて頂き、十分に把握し、その上で、本人の意向に沿って、徐々に場の雰囲気に慣れるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人を1人の先輩として、尊敬し、日常生活においてやさしい声掛けと笑顔で接し、喜怒哀楽を分かち合うことができ、本人から学問等を勉強させて頂いたり、又、信頼関係を構築している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は、本人の家族を第二の支援者として大切に思っており、面会等に来られた際には、笑顔で接し本人の話や世間話、又日常会話をして頂いたり喜怒哀楽を分かち合うことができ、一緒に本人を支援する信頼関係を構築している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人とのコミュニケーションにより家族について話して頂いたり、又家族からも本人の生活歴等これまでの本人について話して頂いたりと家族関係の理解に取り組んでおり、よりよい家族関係の構築を目指しているが、難しい場合もある。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人にとって、大切な方(家族、友人、知人)、場所(生家、家族の住居、思い出の場所)について、本人が希望すれば、問い合わせたり、同行して訪問できるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の各人の特徴や性格を把握し、利用者間で共通の話題作りや共通した趣味で関係を共有して頂けるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了しても、利用者や家族との関係を絶たないように付き合いを大切にしていきたいが、まだそういう状況に当たったことがない。		今後、そういう状況になった場合は、利用者や家族との関係を絶たないように付き合いを大切にしていきたい。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来るだけ本人1人1人の希望どおりに生活して頂けるように取り組んでいるが、困難な場合には、本人の意向を最優先させるように行っている。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に記入していただく基本データ票や看護サマリー等の本人に関する情報を把握し、入所してからの本人とのコミュニケーションを取ることで今までの生活歴や人生観といった情報を少しでも把握できるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1人1人の生活パターンやその人の心の思い、残存機能等の現状を把握し、できるだけその人に合わせた生活パターンを考慮するように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人が楽しんで充実した本人らしい生活を送れるように、事業所での課題、ケアのあり方について、本人、家族、介護職員と担当者会議で意見を議論し合い、本人に出来るだけ無理をさせないような介護計画を作成している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間中に対応できない変化が生じた場合、即本人、家族、介護職員、ケアマネージャーを含んだ担当者会議で議論し、本人の現状に即した新たな計画を作成している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者各人の病院受診や日常生活での変化等を個人記録に残し、各人のケアについて情報を共有しながら実践、介護計画の見直しに活かしている。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況や都合、その時々々の要望を考慮して、事業所の出来る範囲内での機能性を活かして支援に取り組んでいる。		引き続き、事業所の出来る範囲内での機能性を活かして支援に取り組みたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人のこれまでの意向や必要性に応じて、顔馴染みの民生委員、文化機関等と協力し、本人が納得されるような取り組みを行っている。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や必要性に応じて、同事業者のケアマネジャーと話し合い、他のサービスを利用する為の支援に取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族等の希望による今までのかかりつけの医者と事業所の信頼関係を構築しながら、適切な治療が受けられるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	今のところ専門医等認知症に詳しい医師との関係は築いておらず、認知症に対しての診断や治療については詳しくなされていない。		認知症の専門医との関係を築くこと、診断や治療については難しいと考える。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	今のところ利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職とは相談はしていない。		毎回の定期受診で顔馴染みになり、その利用者について気軽に相談したり、日常の状態や医療活用に取り組みたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>利用者が入院した時、安心して治療できるように、又、出来るだけ早期に退院できるように病院関係者や家族等との情報交換や相談に取り組んでおり、連携している。</p>		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>今まで経験した重度化した終末期の利用者について、出来るだけ早い段階から本人や家族等並びにかかりつけ医等と十分に話し合い、全員で方針を共有するような取り組みを行っている。</p>		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度や終末期の利用者がこれからをより良く暮らせるために、事業所での役割を考え、本人と家族等の要望を聞き入れて、対応し、今後の変化の検討や準備に取り組んでいる。</p>		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>本人がグループホームから退去される際に、家族及び本人に関わるケア関係者(ケアマネージャー、看護師、職員)で十分な話し合いや情報交換を行い、出来るだけ本人に負担がかからないような住み替えに取り組んでいる。</p>		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者1人1人を尊敬し、プライバシーを大切に声掛けや対応に取り組み、各人の個人記録等の情報の取り扱いをしていない。</p>		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	本人に声掛けしてコミュニケーションをとることで、思いや希望を話して頂き、本人の状態に合わせて説明を心掛け、本人の意向を尊重して日常生活をして頂けるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者に利用者1人1人の生活パターンを大切に、その日の体調や希望に応じて1日を過ごして頂くように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月に一度、本人の行きつけの理・美容院、または近隣の店に行っている。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様、1人1人が役割を持たれ、職員と一緒に楽しく準備や片付けをしている。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物、お菓子は、利用者1人1人の状態に応じて、一旦事業所で預からせて頂き、希望によって楽しめるようにしている。お酒やたばこは、現在のところ飲む方はおられない。		出来るだけ、本人の状況に応じて、日常的に楽しめるように取組みたい。
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄については、利用者1人1人の状態や習慣に応じて、出来るだけ自立してできるように行い、気持ちよく出来るようにしている		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、いつでも入浴を楽しんで頂きたいが、曜日や時間帯を決めており、利用者の状態や希望に応じて、取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者1人1人の生活パターンや状態に応じて、安心していつでも休息や睡眠できるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	花瓶の水替えや洗濯物畳み、畑作業等、1人1人に役割があり、レクリエーションや外出等、楽しみごとで気分を変えて頂けるように取り組んでいる。		今後も、取り組み内容を継続していきたい。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は、本人がお金を所持し、使うことの大切さを十分に理解している。事業所では数名の利用者が小額のお金を所持されているが、他の利用者は所持されておらず、外出での買い物については所持して頂き、使って頂くように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1人1人の希望や家族の希望に応じて、出かけられるよう取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者に行きたい場所を尋ね、事業所では月1回外出の予定をたてており、それに取り組んでいる。又、家族の希望によって、家族とともに出かけられるようにも取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて、電話して頂いたり、手紙のやり取りができるようにしている。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	それらの方々が気軽に訪問出来やすいように、玄関スペースにソファや椅子を設置し、又、壁には利用者の作品を展示している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、身体拘束について理解しており、それをしてはいけないケアに取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、絶対に鍵をかけないようなケアに取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者のプライバシーを侵害することなく、昼夜に問わず状態の把握を徹底しており、安全に配慮している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	基本的には、居室に注意の必要な物品は置かないようにしている。特に刃物については、職員が管理し、本人の使用の訴えがあった時に、職員がついて使用して頂く。又、利用者の手の届かない場所に保管して危険を防ぐように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒については、昼夜を問わず、巡視の強化の徹底、利用者にはナースコールの使用、窒息については、人工呼吸等の対応、誤薬については、薬のケースに薬の名前を各人ごとに仕分けして対応、行方不明については、ならないよう行動や様子の把握、火災等の災害については、研修や避難訓練を実施して、職員間で防災について話し合いを行い、又、1人1人の状態による事故防止に取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	利用者の急変時や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練はしておらず、急変や事故発生時には看護師に連絡して指示を仰いでいる。		利用者の急変時や事故発生時に備え、看護師に連絡するだけでなく、全ての職員が応急処置や初期対応の訓練に取り組んでいきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策として、年2回、避難訓練を実施しており、昼間については避難できる方法を身につけているが、夜間帯は身につけていない。日頃から地域の人々の協力を得られるような働きかけは進んでいない。		災害対策について、昼夜を問わず、利用者が避難できる方法を考え、又、地域の人々の協力を得られるように取組みたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者1人1人にリスクは必ずつきものであり、一番起こり得るリスクについて、家族等に説明し、身体拘束といった抑圧のないような生活を大切にしたい対応に取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1人1人の体調や状態は観察しており、異変があると直ぐに情報を共有し、看護師に状態や様子を報告して、指示を仰いで対応している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者1人1人が服薬している薬の目的、用法・用量については大筋理解しているが、副作用については理解していない。服薬の支援と状態の変化に配慮している。		今後、利用者の服薬について、薬の目的、副作用、用法や用量の理解し、服薬の支援と症状の変化の確認に取組みたい。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や影響について理解し、予防と対応のため、食事の工夫(食物繊維を多く含んだ物の摂取、十分な水分摂取等)や身体を動かす働きかけ(散歩や体操、入浴時の腹部のマッサージ等)、又どうしても時は薬を処方して対応している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。

グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの呼び掛けを行い、口腔内を清潔にして頂けるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を維持していきたい。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のバランスや水分摂取量について、1人1人の状態や習慣に応じて、出来るだけ一日の量が確保できるように取り組んでいる。		引き続き、取り組み内容を維持していきたい。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、感染予防の為に玄関の下駄箱の上や職員の休憩所に消毒剤を設置し、実行している。		引き続き、取り組み内容を維持していきたい。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等は常に衛生管理に努め、食材は業者からの新鮮で安全なものを使用し、管理している。		引き続き、取り組み内容を維持していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者、家族、近隣の人等が安心して出入りができるように、スロープと手すりを設置したり、玄関先にはプランターに花を植えたり、ソファと椅子を設置したり、木を植えて周りを石で囲んだ小さな庭、事業所の看板といった工夫をしている。		引き続き、取り組み内容を維持していきたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は、不快な音や光がなく、自然の音色が聞こえ、自然の景色が広がっており、季節感がある。事業所では台所と居間と食堂が1つになっており、食事の準備中に、切る音や調理中の香りがしており、生活感がある。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。

グループホーム ひなたの家

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間では、利用者の自由に過ごして頂くように、1人1人の居場所が確保でき、又、気の合った利用者同士でも思い思いに過ごせる居場所を確保している。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人と家族に相談して、タンスや椅子やテレビ等、本人が使い慣れたものを設置し、本人の都合が良く、居心地のよいような居室にしている。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室や事業所の家屋では、異臭や空気のおよみにこまめな換気を行い、温度調節については、利用者の状態と希望に応じて行っている。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部には、手すりを設置し、それをつたって歩行しやすいようにしており、又、入浴時にはお風呂場に手すりを設置し、安全かつ入浴しやすい工夫をしている。フローリングは階段がなくフラットで滑り難くしており、出来るだけ自立した日常生活を過ごせるようにしている。		引き続き、取り組み内容を継続していきたい。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	1人1人の状態や体調に応じて、わかる力でパニックや失敗を予防し、出来る範囲内での自立を促がし、日常生活を送れるように取り組んでいる。		引き続き、取組み内容を継続していきたい。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周りには、花壇があり、季節感のある花を利用者が植えたり、水をあげたりしている。又、畑があり、季節の野菜を作ったり、収穫したりと活動できるように取り組んでいる。		引き続き、取組み内容を継続していきたい。

グループホーム ひなたの家

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム ひなたの家

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)